

# 加茂文化協会だより

会長 押見 朋子



加茂市の文化芸術活動は団体から個人に渡り多様な活動がなされてきました。それもこの自然豊かで穏やかな環境があるからこそだと思います。昭和51年に文化会館を作りたいという思いで、

これまで個々に活動をしていた方々と一緒に第1回音楽祭を、そして第9回加茂市展を開催したことをきっかけに加茂市の芸術文化振興の推進母体となる文化協会等の設立が進められ、名称も加茂市民はもちろん、近隣の市町村の方々にも気楽に身近に感じられる様に「市」をつけず「加茂文化協会」となったと聞いています。県下でも最も早い時期の設立だそうです。それまでは広く多くの収容人数が必要の際は、市民体育館で、その都度発表される形態に役所や有志市民によりセッティングをしてきたわけですから今から考えると難儀をしながら活動してきたといえます。令和5年に加茂文化協会は45周年を迎えます。しかし令和元年年末からの新型コロナウイルス蔓延により、あらゆる活動が制限されていたことと、加茂文化会館大ホールの機材老朽や耐震不安による休館が文化芸術活動を圧迫してきました。そこで加茂文化協会を先頭に加茂市音楽協会からも、加茂市に重ねての陳情を申し上げ、今年度工事も進み、加茂文化会館は令和5年5月に利用開始予定とされています。耐え忍んできた分、これまで以上に多くの方々を知っていただき、活発なご意見を頂きながら楽しく文化の保存と創造を高めていける団体としていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 令和4年度総会

令和4年度の加茂文化協会総会が6月27日、市役所で開催されました。総会では、長年にわたり文化協会の発展にご尽力をいただきました中村謙二さんが退任され、新たに押見朋子さんに会長に選任されました。また、役員の変更も行われました。なお、令和3年度の事業報告及び収支決算報告、令和4年度の事業計画及び予算について原案のとおり承認されました。

## 令和4年度予算

### 【収入】

項目	収入額	備考
会費	134,700	
繰越金	159,080	前年度から
雑収入	220	
合計	294,000	

### 【支出】

項目	支出額	備考
補助金	50,000	
負担金	10,000	国際交流協会
研修費	20,000	視察等
会議費	20,000	総会賄い等
広報費	71,000	協会だより
表彰関係費	20,000	表彰状等
事務費	28,000	
予備費	15,000	
積立金	60,000	周年用積立
合計	294,000	

## 役員（敬称略）

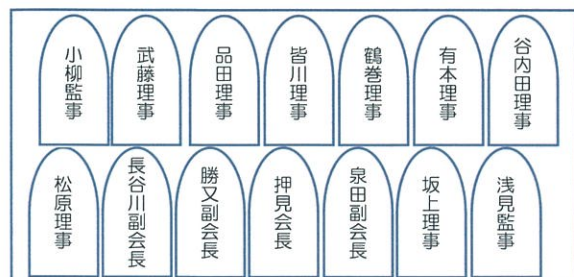
会長	押見朋子	
副会長	泉田 悟	勝又 依
〃	長谷川 サヨ	吉田裕子
幹事	川瀬英俊	
監事	浅見 睦	小柳まり
理事	武藤保子	有本さち子
	皆川孝一	長谷川サヨ
	品田真彦	谷内田清美
	鶴巻靖子	坂上和雄
	松原貞子	

### ～文化協会役員として～

国際交流協会幹事	押見朋子
文化会館運営審議会委員	押見朋子
〃	勝又 依
〃	吉田 裕子
公民館運営審議会委員	泉田 悟



総会時撮影



欠席：吉田裕子（副会長）、川瀬英俊（幹事）

## ～令和4年度文化協会加入団体・個人～

団体

団体数：24、会員数：215（延べ数）

個人

会員数：18

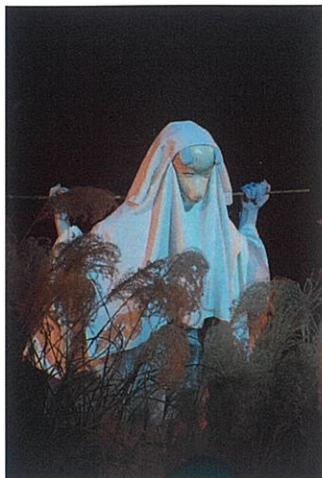
分野	団体名	代表者	会員数
日舞	市山会	市山 七十梅寿	4
フラダンス	美しいフラ加茂	武藤 保子	15
いけばな	加茂いけばな協会	有本 幸華	17
民謡	加茂松坂協会	長谷川 サヨ	20
民謡	加茂松坂保存会	鶴巻 靖子	19
謡曲	葵宝会	小林 均	2
合唱	草笛コーラス	服部 千春	15
合唱	コール・ブリューテ	皆川 孝一	12
笛	ザ・タテブエ	樋熊 三津男	2
民踊	秋扇会	坂上 秋子	4
書道	書人サンガ	下田 泰山	5
日本画	紫燎会	坪谷 幸作	2
吟詠	新葉岳星会	小柳 友蔵	6
ピアノ	すみれ会	小林 久美子	5
合唱	男声合唱団どんぐり	阿部 大和	10
声楽・ピアノ	千鳥会	押見 朋子	15
箏	新潟箏曲理音会	高橋 理香	10
日舞	西崎加茂会	西崎 美都扇	3
書道	日本書道教育学会 加茂教室	勝又 楓苑	9
絵手紙	花うさぎ道場	谷内田 清美	3
合唱	花コーラス	谷内田 清美	19
ピアノ	ピアノニッシモ	吉田 裕子	10
器楽（ハーモ ニカ）	雪椿ハーモニー	横尾 二二秋	7
ピアノ	リラの会	阿部 美智子	1

分野	代表者
能楽	浅見 睦
工芸	石澤 啓一
洋画	泉田 悟
日本画	小柳 英一
書道	金子 水楓
彫刻	古森 清五郎
書道	近藤 水碧
工芸	坂上 和雄
書道	佐藤 芳春
日本画	坂中 洋子
洋画	千野 清和
日本画	坪谷 蒼深
工芸	中村 謙二
日本画	森島 明子
写真	三浦 二郎
書道	吉田 鈴欣
工芸	涌井 みゆき
日本画	和田 美千子

敬称略：50音順  
芸名・雅号で表記しています。

## ～活動紹介～

### 【市山会】 市山七十梅寿



私は今、奈落の底。文化会館休館前の最後の舞台です。先人達には到底及びもしない拙い芸ですが、漸く面白い踊りと思える様になりました。曲の始まる前から頭巾を下ろし、闇の世界の中、七十梅お師匠さん神様仏様と祈ります。聞こえてきました、せり台の昇降音、いざ舞台へ！！文化会館、裏方さんありがとうデレン、デレン、デレン

### 【葵宝会】 小林 均

文化会館は、私が県の文化財主事の時に国からの指示で総工費の4分の1の地元負担で昭和57年2月に建設された。同42年に落成した東京三宅坂の国立新劇場の音響効果を参考にして大手建設会社に設計を依頼した経緯があり、特に専門家に推奨されてきた。

当時、加茂市内の謡曲愛好家には木村義男指導の男性「葵宝（きほう）会」と西村絹指導の女性「葵雲（きうん）会」があり、最初から能舞台も合わせて設置して頂いた。後に女性は浅見睦が「むつみ会」を独立させる。以来二つの会は長年にわたり、女性は劇中の優雅な「仕舞」を、男性は力強い「謡」を中心にして市民に披露する機会を持たせて頂いたが、どちらも高齢のため、ここ数年は表立った活動機会のないのは残念である。「小京都」には最も相応しい芸能と思われるため是非とも後継してほしい。（敬称略）

### 【美しいフラ加茂】 武藤保子



健康増進の3原則。栄養。運動。休養。精神的なストレス解消にも大変効果があります。趣味は、リラックスと満足感を与え、豊かな心を作ります。南国の甘いメロディに乗って、休の運動をしませんか。ワクワクする事に挑戦。

フラ（ダンス）のおすすめでした。

### 【加茂松坂協会】 長谷川 サヨ



今日（こんにち）は、私達の団体は加茂松坂協会と言いまして地方（囃し方）と立方（踊り手）の皆で成り立っている民謡団体です。県内外の唄、踊りもやります。会員20名で毎週土曜日、午前中、加茂市公民館の第1研修室で練習をしています。子供達にも加茂松坂をしっかりと覚えて頂きたく教えています。雪椿まつりをはじめ、加茂市の行事には参加させて頂いています。練習日には毎回いい汗をかいて健康に気を付けながら楽しく頑張っています。

## 【加茂松坂保存会】 鶴巻 靖子



新しい体制でスタートして一年。これまで数々の行事に参加させて頂いてきたがコロナの影響がここまでとは予想できず。全く行事もないまま子ども教室の練習だけを行ってきたが可哀想な思いをさせている。子供たちが胸を張って練習の成果を発表できる場を作ってあげたい。加茂松坂は私たち故郷の民謡だと。今はそれを目標に。

## 【加茂いけばな協会】

有本 幸華

加茂いけばな協会は、小原流、宏道流、草月流、池坊、北斗流、古流松藤会の6流派で活動しています。雪椿祭りでは、青海神社で献花祭を行い、秋には市展、年明けには、新春美術展に展示させていただいております。

日本の伝統文化の象徴のひとつとして守り受け継いで、会員一同精進して参りたいと思います。

## 【草笛コーラス】 服部千春

草笛コーラスは、故押見榮喜先生のご指導の下、歌い始めて半世紀余となります。在籍30年、40年という方もいて、平均年齢はちょっと高めですが、歌が大好きで、草笛だけでなく別の団にも所属している方も複数います。

練習は第1、第3木曜日の月2回。今、共に歌える幸せに感謝しつつ、楽しく歌っています。

## 【コール・ブリュート】

皆川孝一



結成9年目、12名の男声合唱団「コール・ブリュート」です。故押見榮喜先生の教えを引き継いで、今は品田真彦先生、伴奏小林ちひろ先生を中心に、日本歌曲、世界民謡、歌謡曲などを楽しく唄っているシルバー集団です。結成10周年コンサートを検討中で、練習は、加茂文化会館で、2回/月で年間4・5曲をマスターし、発表を「千鳥会」と「加茂市文化祭」で唄っています。団員は、常に募集しています。唄ってみたい方は、声を掛けてください。

## 【秋扇会】 坂上秋子

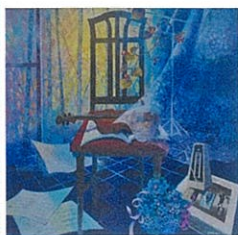


加茂文化協会にお仲間入りさせて頂いて数十年、お世話になりました。素晴らしい文化会館の舞台、最高でした。あの頃は沢山の流派、大勢の出演者で本当に楽しかったです。感謝して居ます。私として淋しさが残りますが、若い人達へのバトンタッチの時が来た様に思います。沢山ありがとうございました。続けられるかぎり、お世話になりますが。

### 【紫燎会】 坪谷幸作



日本画ふたり展  
高橋代里・エミ  
会期 7月16日(金)～31日(土)  
会場 下田の森の美術館



昨年の7月です。会員の高橋エミさんが三条市の「下田の森の美術館」でお母さんの作品とで「二人展」を開きました。県展入選作に受賞作など窓辺の静物がテーマの作品は多くの鑑賞者を魅了していました。下田村はお父さんの故郷だそうです。下田の風景と作品が溶け合い、画面を超えて広がっていきます。作者を支えてきた「風土」を思わせる展覧会になりました。

### 【男声合唱団どんぐり】

阿部大和



私達男声合唱団「どんぐり」は、外山哲也先生を指揮者に迎え、月1回楽しく練習しています。メンバーは、視覚障がい者6人、健常者4人です。レパートリーは、男声合唱曲・日本歌曲・団の創作曲等です。加茂市文化祭「音楽の部」には、欠かさず参加させていただいています。現在、団員募集中です。

Tel：0250-58-6160（阿部大和）まで。

### 【書人サンガ】 下田彩水

加茂市を本部に新潟市や見附市、7教室で指導する下田書道会です。子供から大人までが楽しめる様々なコースがあり、キッズパフォーマンスチームは、神社やお寺での奉納揮毫を行っています。また、会員は市内や市外で展覧会を開催し、書を楽しんでいます。書くことが好きな方は、どなたでも大歓迎です！



<http://shimodasho.dou.jimdoofree.com/>



### 【千鳥会】 押見朋子



千鳥会は発足から56年。小さい子供から大人のピアノ、音楽大学受験に必要な音楽理論、ソルフェージュ、声を磨くためのアマチュアからプロの声楽レッスン、そしてコーラスと、多様な学びのできる教室です。毎年8月末に開催している加茂文化会館でのサマーコンサートは、日頃の成果を発表しお互いの成長を糧に更に励むいい機会となっています。

### 【ザ・タテブエ】 樋熊三津男

ザ・タテブエ。命名者は故 押見栄喜先生と聞いています。名称のユニークさに喜んでいます。(\*^\_^\*)加茂市民音楽祭で演奏するのが唯一の場です。他に演奏する場がありましたら嬉しいです。リコーダーは誰でも吹けます。リコーダー教室とか、興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

080-3322-1776樋熊(ショートメール可)

## 【西崎加茂会】西崎美都扇

西崎加茂会は、現在二名で活動しています。美幸先生亡き後は、中央コミセンで毎週金曜日の午後から二時間程、お稽古中です。

踊りにも民謡から古典と幅広く、皆様もご存知の会津磐梯山は初代西崎緑師により昭和初期に創作され、緋の元禄袖に赤いネッカチーフの着付にカスターネットを打ち鳴らして群舞で踊ります。民謡に洋舞を取り入れても少しも違和感がない振付は踊っていて楽しくなります。興味のある方は、お友達とご一緒に見学においでください。

## 【日本書道教育学会加茂教室】

### 勝又楓苑

当教室は、会員相互の親睦を図りながら、書を楽しみ、書の技を磨いています。不二誌の課題を中心に半紙、条幅と練習。漢字、かなは勿論、新和様（現代書）には特に力を入れ、読める書、親しめる書を書くことを目指しています。多くの人に現代書の楽しさを味わい、その良さを知り、更に広めてゆけたらと・・・、活動しています。

## 【個人会員】むつみ会：浅見睦

初の女性会長も決まり、躍進の年になると信じます。ライフワークの能楽と山野草の会はなくなりましたが、新しい会に期待しています。

物造りや稽古は限りない道です。その中に身をおき、夢中になる自分を想像して下さい。鼓の音で舞台を、TVで山の風景や野草を見ると、そこで得た知識や仲間が今ではかけがえのない宝物になっています。

## 【個人会員】

### 上条書道教室：金子水楓

今は、勉強やスポーツに忙しい学生生活の中、書道を選んで学んでくれる人にうれしく思います。当教室は加茂（石川教室：火曜午後）、三条（大崎教室：金曜午後）活動中です。基本の筆づかい、筆順、自己表現方法を月例競書を通して指導しています。私語もなく集中して学ぶ生徒から私も学ぶ点が多く励まされています。もう少し元気に続けていきたいと思えます。

## 【ピアニッシモ】吉田裕子

ピアニッシモは、ピアノが弾けるようになりたい、趣味でピアノを楽しみたい、音楽の道に進みたいという方たちが参加しているピアノ教室です。園児から大人までの方々が毎年3月末に大ホールで発表を行っていました。来年度から再び文化会館で演奏できることを楽しみにしています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

## 【雪椿ハーモニー加茂】

### 横尾二二秋

雪椿ハーモニー加茂は、平成8年に結成されたハーモニカの同好会です。現在、会員は8名で、毎月2回練習日を設けています。ハーモニカの奏法は多彩で奥が深く、メロディー練習の合間に取り入れています。発表の機会は、毎年秋に行われる市民文化祭がメインです。その他、地域の団体から依頼されて演奏することもあります。

## 【個人会員】

### 石澤啓一

信濃川の土手沿いで「工房どき土器」を営んでおり、妻の信子さんはエコクラフトを教え、私は陶芸を教えています。また、春と秋には県央の作家さん達を中心に工房で「仲間展」も開催しています。普段は工房内のガス窯を使用しますが、花器などは3日間かけて薪窯で焼成します。薪窯はガス窯と違って窯出しまで作品の出来具合が判りません。ほぼ全滅の場合や予想以上の焼き上がりの時もあり、それが面白い所です。



## 【個人会員】小柳英一

加茂美術協会 今展に寄せて  
加茂美術協会は、加茂市教育委員会と共催で年に一度、今展を開催しております。今年で第25回を加茂市産業センターを会場にて行いました。9月9日より4日間でした。近隣市町村より4日間で7百数十人が入場があったと聞きおよんでおります。この今展が益々発展するよう願っております。

【個人会員】 泉田悟



5年前の個展会場で燕市の方が来場され、絵画グループへの入会を誘われた事がきっかけで燕市でのグループ展にも出品し、活動域を広げ創作しています。更にこの事が縁となり、加茂美術協会作品展にも来観頂き、作品につき意見交換を行い、お互いに切磋琢磨しています。又、燕市のグループの方を介して新たに三条市の方との出会いもあり、良き刺激となったこの頃です。

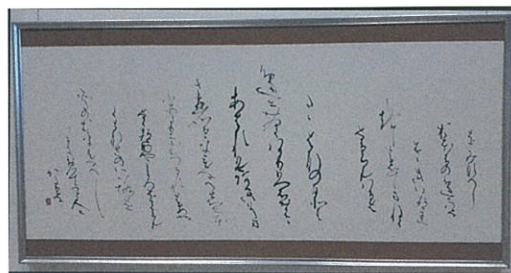
【個人会員】 近藤水碧

書に関わり50年以上続けていますが奥深さに悩まされ、書けなくなり、もうダメだと思いつつ、書かないでいればポツーンと穴があいた様になります。又筆を持つと今日は一日充実した日になり、書けば書くほど悩み時には楽しくなり夕食をおいしく頂けます。今後も臨書をやり、体調に気を付けながら心身共にバランスを考え、人生100年時代、心に余裕を持って書友の皆様と細長く続けて行きたいと思っています。

【個人会員】 坂上和雄

私は工芸作家の坂上です。陶芸との出会いは50才の時、公民館の陶芸教室の講座でした。57才から自宅で陶芸を極めたい想いが強くなり、窯を持ち本格的に陶芸を続けています。加茂市展から中央の日展の公募展に出品し、入選入賞を続けています。これからは、皆様と文化協会の発展に微力ながら貢献出来れば幸いです。

【個人会員】 佐藤貴子



「かな書道」を勉強しています。神戸に本部がある一東書道会に所属し、古典の臨書や、それをもとに作品を作成し、県展や加茂市展をはじめ、読売書法展や日展に出品しています。「かな書道」を勉強したい方、ぜひ一緒に勉強しましょう。

【個人会員】 千野清和



私は、一陽会、日本美術家連盟、新潟県美術家連盟に所属しています。コロナ禍拡大の影響で美術家として作品の発表の機会を失い、制作意欲に欠けてきた。そんな中、今年一陽会は国立新美術館で開催が決定した。先の見通しが立たない状況中であるが自分の納得できる作品を制作し、新しい事にもチャレンジしていきたい。

【個人会員】 中村謙二

漆の伝統を守り、気が付けば、日本現代工芸、日展に進む形に成り、思い介せばそれは多くの人との出会いの始まりで有り、苦しい中にも精一杯突き進んだ生き甲斐のある日々と成りました。漆と共に歩いた道、先日も見附で個展を終わり、新たなチャレンジを始めております。6年間の文化協会を一区切りとし、お世話に成った皆様にお礼を申し上げます。

【個人会員】 坪谷蒼深



建築設計インテリアデザインの仕事を辞めて日本画水墨画を描き始めて早いもので15年ほどの年月が経ち、今は新潟市姥ヶ山のアークオアシスデザイン新潟店で特設専用コーナーを設けて頂き春夏秋冬に合わせ軸物中心に30点程の作品展示販売をさせて頂いて居ります。住宅様式が変わり、今は掛軸を季節毎に飾る習慣も少なくなりましたが絵画は私が思うに人の心を癒す力を持っていると思われまふ。時代背景が変化しても良い物は残ると自負いたして居ります。

【個人会員】 森島明子

公民館で日本画教室「春樹会」の指導をさせて頂いています。

生徒さん達と共に日本画の技法を研究する日々は、いつも発見があり楽しい時間です。

自分が制作する時、日本画とは？自分らしさとは？と自問自答しています。これは答えの出ない永遠のテーマだと思ひますが少しでも自分の想いに近づける絵を描きたいと思っています。

【個人会員】  
吉田鈴欣



私は書を学び始めてから30数年が慌ただしく過ぎ現在も、まだまだ未熟です。幸い友人からの誘いで4年前に入会いたしました。処が思い掛けなく多勢の方が色々な分野で活躍されて実に多彩でそれぞれ個性的で魅力的な雰囲気を持つ方々でした。それに触発され、これからは猶一層気を引き締め学んで行きたいと思っています。

【個人会員】 三浦二郎



私は、写真を撮っています。小京都加茂で、小京都加茂、北越の小京都、日本の小京都を作りました。写真は加茂市青海神社、八幡宮、水源地、大谷地区、下条ダム加茂川の上流から下流の四季を撮って発表しました。

【個人会員】 涌井みゆき



私の活動内容は、加茂美術協会の今展と市展は委嘱をして出品させて頂いています。また、グループ展や公募展、ワークショップと活動を広げております。作品は、主にワイヤーでルーピングの技法を使い作品を作っております。色々な方々に見ていただけるようにがんばりたいと思います。

【編集後記】

コロナ禍に加え、文化会館の休館が重なり、文化協会が関係するイベントが少なくなっており、文化協会としては淋しい状況が続いております。

この状況を少しでも打破し、文化協会に加入するメリットを感じて頂こうと、事務局では文化協会のホームページを作りました。機会があれば、ご覧下さい。（主催・後援したイベントの情報も随時更新しています。）

<https://www.city.kamo.niigata.jp/docs/50513.html>

